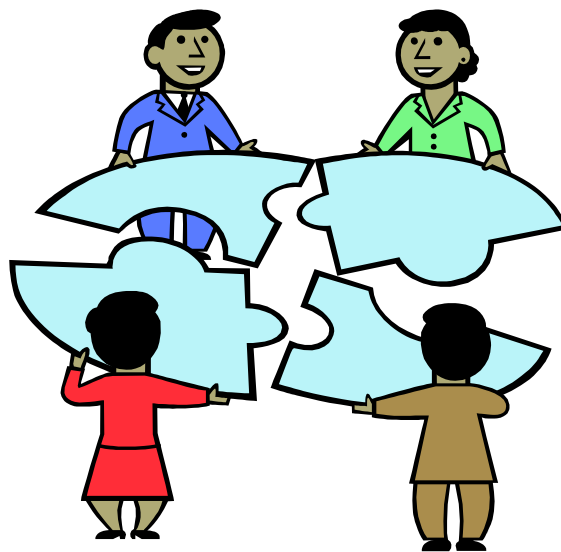


## 学習プログラム 事例

一人一人が、住みよい  
地域にしていくために

ねらい

お互いが尊重される住みよい地域にする  
ために必要なことを、みんなでいっしょに  
考えます。



## 地域づくり人権教育講座

### 1 事業計画

- |                |                                      |
|----------------|--------------------------------------|
| (1) 事業名        | 地域づくり人権教育講座                          |
| (2) 事業の目的      | 公民館を利用している一般住民を対象に、人権についての学習機会を提供する。 |
| (3) 実施主体       | 教育委員会                                |
| (4) 参加対象・定員    | 公民館主催講座受講生 30名程度                     |
| (5) 学習期間・回数・時間 | 4月初旬 1回 2時間                          |
| (6) 学習場所       | 公民館                                  |
| (7) 学習目標       |                                      |

現代的課題の一つである「人権」についての理解を深めるとともに、参加者相互の交流を通して、互いの人権が尊重される住み良い地域を作ろうとする意欲を高める。

#### (8) プログラムの展開

学習テーマ	学習の内容	学習支援者	備考
一人一人が、住みよい地域にしているために	(1)地域の課題と人権教育について考える。 (2)まちづくりと人権について考える。	行政職員 ファシリテーター	ビデオ視聴 グループ活動 講話 【120分】

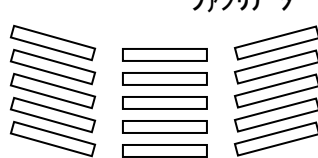
### 2 事業評価表

事業評価の視点	人権が尊重される住み良い地域づくりへの意欲が高まったか。
評価のデータを収集する対象者	受講者，ファシリテーター，主催者

区 分	学習成果に関するもの	条件整備に関するもの
(1)評価項目・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファシリテーターの説明が理解できたか。</li> <li>・ 人権についての理解を深めることができたか。</li> <li>・ 人権と地域づくりの関係を理解し、より良い地域づくりへの意欲は高まったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビデオの内容は、事業目的に合致していたか。</li> <li>・ 席の配置は適当であったか。</li> <li>・ 学習時間は適切であったか。</li> </ul>
(2)評価時期・場面	個人及びペア，グループでの活動の実施時及び事業の終了時	事業の終了時
(3)評価のデータを収集する技法	作品評価法，観察法，質問紙法 インタビュー法	質問紙法，観察法
(4)留意点・備考	ファシリテーター，運営者は，参加者の発言や，作成物を注意深く観察しておく。	アンケート項目は，評価項目，基準に沿ったものにするとともに，理解できる項目になっているかを十分チェックする。

### 3 学習展開計画

学習テーマ：一人一人が、住みよい地域にしていくために	
学習目標	現代的課題の一つである「人権」についての理解を深めるとともに、参加者相互の交流を通して、互いの人権が尊重される住みよい地域を作ろうとする意欲を高める。

<b>準備物</b> ・ビデオのあらすじ 1人1部 ・ウォーミングアップシート 1人1枚 ・記入用シート 2人に1枚 ・筆記用具 1人1本	<b>会場図</b> (各テーブル2名) <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">テレビまたはスクリーン</div>          ファシリテーター(講師)   </div>
---	---

流れ	時間	学習活動	詳細のページ
導入	10分	研修の目的と内容，活動を行う上での留意点の説明・確認(5分) アイスブレイク <u>最近食べておいしかったもの</u> (5分) ・ペアでじっくり話し合う	18  19
	10分 (気づく)	活動(アクティビティ)[ペアで活動] <u>今日の元気度は</u> ウォーミングアップシートに記入する(5分) ペアで，記入した内容について交流する(5分)	20
展開	90分 (深める)	ビデオ視聴(30分) <u>身近な人権と地域づくり</u> 活動(アクティビティ)[ペアで活動，グループ活動] <u>もっと楽しく住みよい地域へ</u> ビデオを見て疑問に思ったこと，気付いたことをペアで話し合う(15分) 話合いで一番話題になったビデオの場面をシートに書く(10分) シートに書かれた場面と関連する身の回りの事例についてグループで分析する(30分) 活動内容を整理する(5分)	21  22
	10分 (わかちあう)	活動(アクティビティ)[ペアで活動] <u>今日の活動のふりかえり</u> ペアで感想を交流する(5分) 学習のポイントを確認する(5分)	23

## 4 「学習活動」の詳細

### はじめに 参加体験型学習とは、こんな学習です

#### 活動の ねらい

今日の講座の流れや参加体験型学習の意義、留意点などについて、参加者に伝えます。

#### 準備物

特になし

#### 活動の進め方

1 運営者から、今日の講座のねらいや流れについての説明を聞きます。

2 ファシリテーターから、今日の講座では参加体験型の手法を使うことや、その意義、参加体験型学習で参加者が留意することについて説明を聞きます。

例えば、

参加体験型学習とは、一方的に講師の話を聞くだけでなく、参加者自身の気づきや経験などをお互いに交流することで、学びを深める手法である。

参加体験型学習は、参加者どうしの交流を大切にするため、お互いの結びつきを強くする。

参加者が「参加」することが大切。参加者が主体であるが、発言を強制してはならない。

人によって様々な意見があるが、それぞれの意見は尊重される。

学習の中で出された意見などは、この場だけのものとし、発言した人の許可なく外へは持ち出さない。参加者全員に守秘義務がある。

ことばで説明するだけでなく、ホワイトボードや模造紙に簡単に書いて掲示しておくことで、参加者は活動の途中でも、ねらいや今日の部分の活動を行っているのが良くわかります。

参加者によっては、話すことに抵抗を感じる人もいます。お互いに話し合い、交流を深めることは、地域の活性化など大きな力になることを説明します。

また、話したくないことは無理に話す必要のないことや、話したことはこの場だけのものとするといったルールを決めることで、安心して話してもらえる場となるようにします。

## アイスブレイク

## 最近食べておいしかったもの

### 活動のねらい

参加者の緊張をやわらげるとともに参加者どうしの親近感を高め、スムーズなコミュニケーションを促します。

### 準備物

特になし

### 活動の進め方

- 1 となりどうしでペアになります。
- 2 「最近食べておいしかったもの」を入れた自己紹介を相互に行います。
- 3 はじめに、一方の人が自己紹介をします。持ち時間は1分ないし2分とします。  
もう一方の人は、心を傾けて、うなずくなど、一生懸命に聴きましょう。
- 4 自己紹介が終わったら、聞き手の人は、感想を伝えてあげましょう。(1分間)
- 5 今度は、役割を入れ替えて、同じように繰り返します。

簡単なゲームなどでペアづくりをする方法もあります。

時間は、講座全体の長さや、参加人数によって調整します。長すぎるのも緊張感が無くなるので注意しましょう。

一生懸命聞くことで、話すほうも話しやすくなります。

また、感想を伝えることで、話し手は聞いてもらっているという実感が持てます。自己肯定感を高める上でも大切なことです。

参加者がお互いに顔見知りの場合は、聞く、話すという役割や持ち時間をこちらで指定しないで、自由に語り合ってもらう方が良い場合もあります。



## 活動（アクティビティ）

## 今日の元気度は

### 活動の ねらい

記入したウォーミングアップシートを活用してコミュニケーションを深めるとともに、お互いの地域についての思いを交流します。

### 準備物

ウォーミングアップシート  
1人1枚  
筆記用具  
1人1本

### 活動の進め方

- 1 ウォーミングアップシートに各自で記入します。
- 2 最初のペアで、お互いに記入したウォーミングアップシートを見ながら、各項目について交流します。
- 3 地域に関する項目について、全体で交流します。

書きたくない、あるいは書けない項目については、空欄でよいことを伝えます。

シートを交換するかどうか、どの項目から話をするのかなどは、それぞれのペアに任せ、こちらからは指示しません。細かいことは参加者に任せて、できるだけ話やすくすることが大切です。

### 【ウォーミングアップシートの例】

## ウォーミングアップシート

今日の元気度は？

/ 10

好きな場所（ほっとするところ）

最近気になるニュース

地域にこんなことがあればいいなあ  
ということがありますか？  
(施設、設備、行事など、何でも)



地域の実態や、住民としての要望などに目を向けてもらうために、ペアで話した内容について全体に出してもらって交流します。

ただし、全体の場で話すのが難しい参加者もいるので、ファシリテーターや運営者が会場を回って共通する話題などを拾っておくことも必要です。

## ビデオ視聴

## 身近な人権と地域づくり

活動の  
ねらい

ビデオを視聴し、身近な人権の問題や地域づくりについて考えます。

準備物

ビデオのあらすじ

1人1部

ここでは、ビデオ視聴にしてありますが、内容によっては講師による講話や寸劇など、地域の実態や参加者、考えたいテーマによって適切な教材を選択します。





活動のねらい

ビデオから感じたことを参加者どうしで交流しながら，お互いの人権を大切にすることと地域づくりの関連について理解を深めます。

準備物

記入用シート  
2人に1枚  
模造紙 グループ1枚

活動の進め方

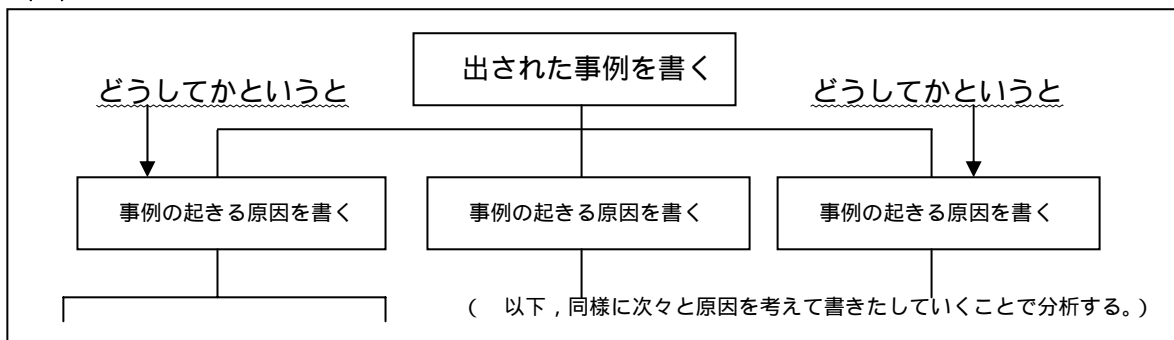
- 1 先ほどのペアで，ビデオを視聴して気付いたこと，疑問に思ったことなどを話し合います。
- 2 話し合いの中で，一番話題になったビデオの場面を記入用シートに記入します。
- 3 ファシリテーターが記入用シートを回収し，一番多くのペアが書いた場面などを中心に，特に全体で考えて欲しい課題を紹介します。
- 4 紹介された内容を聞いて，今度は近くの3つのペアで6人のグループを作り，身の回りにある同じような課題を出し合います。
- 5 出された課題の原因を「( )どうしてかという」との手法で分析し，解決方法について話し合います。
- 6 今日の活動の流れをふりかえり，ファシリテーターが整理して紹介します。

できれば，その場面が話題になった理由なども書いてもらおうと良いでしょう。

今回の講座のねらいに迫るようなものを選択して全体へ紹介します。

どのような活動をしてきたか，また，どんな意見が出されたかを参加者に想起してもらい，最後のふりかえりへつなげます。

( )【原因や背景などを分析するための手法「どうしてかという」と】





## 活動（アクティビティ）

## 今日の活動のふりかえり

### 活動の ねらい

今回の講座の中で気付いたこと、感想などをペアで話し合うことで、学習のふりかえりをします。

### 準備物

ふりかえりシート  
1人1枚

### 活動の進め方

- 1 「ふりかえりシート」の問いに答える形で、気付いたこと、疑問、感想などを、各自で記入します。
- 2 ペアで、記入した内容を交流します。
- 3 ファシリテーターは、記入されている内容や、交流の中で出された事柄をひろい、全体へ紹介します。

可能であれば、参加者自身に全体へ発表してもらえると良いでしょう。

### 【ふりかえりシートの例】

最初の言葉に続けて、文を書いてみてください。

名前 \_\_\_\_\_

私が気づいたことは、	アクティビティの中で自分でもやってみようと思ったのは、
私が印象に残ったことは、	結局、_____とは、 <div style="border: 1px dashed black; height: 40px; width: 100%;"></div>
私がうれしかったことは、	ということが分かった。
今の気持ちは、100点満点の何点ぐらい？ _____点	よく分からなかったことは、
その理由は、	一緒に学んだグループの仲間に伝えたいことは、



【資料・プログラム提供：宇都宮大学教授 広瀬隆人 / 福山市教育委員会 / 庄原市教育委員会】

